

ちちぶ

2014.5.10

第36号

# 市議会だより



大田学童保育室

## 3月定例会

- 平成26年度の秩父市各会計予算を可決  
一般会計予算：278億8700万円
- 大規模雪害の支援策の補正予算を可決  
平成26年度一般会計補正予算（第1回）

大田学童の子どもたち  
みんな明るくやさしい素直な子

毎日元気に遊びます  
サッカー、ケードロ、一輪車  
学習だってしっかりやります

でも・・・  
一番好きなのは お・や・つ かな！

# 26年度の秩父市の予算が決定

※3月定例会(3月7日から3月24日まで開催)では、26年度の各会計予算を含めた市長提出議案47件のほか、議員提出議案7件、請願1件を審議しました。

※26年度一般会計予算に係わる質疑、各議案に対する討論の主な内容は下記のとおりです。

## 総務・建設関係

### 除雪作業委託

**問** 除雪作業委託料の内容、積算根拠は、想定外の事態の場合の対応は、合併前との比較は。

**答** 除雪作業委託料は、市道353路線、約221kmの1回分で、秩父451万8千円・吉田地区120万円・大滝地区1008万円・荒川地区203万円、全体で1854万8千円。不足の場合は、他からの流用、準備費で補う。

合併前は旧秩父99万円・旧吉田町20万円・旧大滝村120万円・旧荒川村200万円、合計で439万円であった。

### 本庁舎等の建設

**問** 庁舎・市民会館の建設費については、これまで市民に案内されていたのは、市長選公約として示されている49億円。これが、今月初めの新聞紙上で9億円アップの58億円(舞台・音響設備を加えると63億円)となるとの報道がされ、市長自身「予想以上の額で市民にいかんに理解していただく

か悩んでいる」「数字から言えば、(公約違反)になるかも知れない」と述べている数字。市民説明会をも経ない段階での継続費の計上は「手続ぎ上、順序が違う」との指摘があるがいかがか。

**答** 市民説明会については、4月の下旬を目指して改めて説明会を開催するよう計画をしている。また、4月の市報で事業の概要について掲載し、市民説明会の案内についてもお知らせをする予定。

### 着ぐるみ制作委託

**問** 着ぐるみ製作の時系列の予定はどのようになっているのか。

**答** 平成26年度公募による秩父市PRキャラクターの作成事業を計画している。スケジュールは、4月から募集要項を定めて、その後6月〜8月にかけて市報、ホームページ等で広くキャラクターデザインの募集を行い、審査を経て10月にはデザ

## 生活産業関係

### 生活・環境

**問** 住宅リフォーム資金助成金の内訳について。

**答** 市内の中小事業者の振興を目的とした制度で、平成15年度から実施している。公平性の観点から助成は1回限りだが、補助率10%、限度額15万円である。延べ3926件の申請を受けているが、申請件数は年々減少傾向である。25年度の交付件数は辞退等もあり149件。26年度の予算は平均して約12万円を140件

インを決定していきたいと考えている。製作にかかる費用はデザインによって変わるが、1体50万円程度として、消費税等を含めて54万円を計上した。なお、製作した着ぐるみは、市内のイベントはもちろん市外で行われるイベント等に参加して、秩父市のPRに活用していく。

分、約10万円を7件分、合計1750万円を計上。対象の工事等をもみても県内でも有利な助成制度なので、今後も利用促進に努めていきたい。

**問** 野良猫対策補助金の内容について。

**答** この補助金については、名称を「秩父市飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金」として、市内にすむ野良猫に、市内の動物病院で不妊・去勢手術を受けさせる市民にに対し、手術費用の一部を補助するものである。

この補助金に係る補助額は、不妊手術1匹につき8千円、去勢手術には3千円を補助するもので、動物病院の協力もあり、申請者は猫1匹につき7千円の負担で手術を受けさせることができるものである。

この補助金を制度化した経緯については、市に寄せられる野良猫に関する相談や苦情が徐々に増えてきたことによる。その背景には、猫の強い繁殖力によって野良猫が増えていることが考えられ、市としては、野良猫の繁殖を抑制し、猫関連のトラブルを減らしていくことを目的に実施していく。

## 文教福祉関係

### 福祉・子育て

**問** 幼稚園預かり保育支援事業補助金について。

**答** 私立幼稚園において、市が定める基準に基づく保育に欠ける児童の預かり保育に要する経費に対して補助を実施するものである。補助対象の幼稚園は、秩父ふたば幼稚園、秩父国際幼稚園、秩父ほうしよう幼稚園(秩父市居住者分)を予定。補助基準額は、保育に欠ける子1人につき月額で、0歳児が10万7千円で1歳児と2歳児が5万7千円、満3歳児が1万1千円、4歳児と5歳児が9千円であり、26年度中に各幼稚園において、保育に欠け、かつ、預かり保育の利用が想定される児童数を基に算出した275万2千円をそれぞれ県が4分の3(2066万4千円)、市が4分の1(688万8千円)の補助率により予算計上した。

**問** 認定こども園の幼稚園預かり保育支援事業補助金について。

**答** 私立認定こども園の幼稚園機能部分に在籍し、



(吉田総合支所3階)

市が定める基準に基づく保育に欠ける児童の預かり保育に要する経費に對して補助を実施するものである。補助対象の認定子ども園としては、秩父幼稚園、秩父緑が丘幼稚園、大畑幼稚園、秩父さくら幼稚園を予定している。補助基準額は、保育に欠ける子1人につき月額で、2歳児が4万6千円、3歳児が1万1千円、4歳以上児が9千円であり、平成26年度中に認定子ども園の幼稚園機能部分に在籍し、保育に欠けかつ、預かり保育の利用が想定される児童数を基に算出した2055万6千円をそれぞれ県が4分の3(1541万7千円)、市が4分の1(513万9千円)の補助率により予算を計上した。

**問 幼稚園預かり保育改修事業補助金の内容は。**  
**答** この補助金は平成26年度に幼稚園預かり保育支援事業を実施するために、園舎の改修、調理室の新設・改修、備品購入費等にかかる経費に對し、補助を実施するものである。補助対象の幼稚園は、秩父ふたば幼稚園および秩父国際幼稚園の2園を予定している。改修費等に對する補助として、補

助基準額は1園に對し2190万円とし、うち、県と市を合わせた補助率の12分の9を乗じた1642万5千円の2園分3285万円(県が2920万円、市が365万円)の歳出予算を予定している。

なお、この補助金を受け事業を実施する私立幼稚園にあつては、事業開始後5年以内の幼児連携型認定子ども園または幼稚園型認定子ども園へ移行することが交付の条件とされている。

**学校・図書館**

**問 学校司書教諭補助員配置事業2509万9千円の事業内容は。**  
**答** 25年度小学校中心だった司書教諭補助員の配置を26年度は小学校全校および中学校8校、計21人に増やす。予算額も約1800万円から約2500万円に増額となった。

**問 25年より全小学校と一部の中学校で取り組んでいる学校図書館活性化事業の成果について。**  
**答** 学校図書館活性化の効果としては、司書教諭補助員に市立図書館司書



3月定例会本会議の様子

**討論**

**反対**

が本の整理、あるいは読み聞かせなどの研修指導を継続的に行なつた結果、いつでも利用できる学校図書館に生まれ変わった。確実に読書好きな子供が増えていると感じている。

**議案第28号について**  
 反対理由は、消費税分が転嫁された使用料等を反映した予算であること。

また、市長選挙時の公約である49億円から大幅にアップし、舞台・音響設備を加えれば63億円にもなるという市役所本庁舎等建設工事が、議会側が求めてきた市民への説明責任が果たされないまま平成26・27年度の継続費として計上されていること。大規模雪害後の市民意識の動向に鑑みても、説明責任を果たすとともに、何らかの形で市民との合意形成を図り直した上で提案すべき。本庁舎等の建設費に多額の

**賛成**

予算を計上している反面、市民生活に配慮した予算とは言い難く、反対。

**議案第8号、9号、16号及び28号について**  
 消費税増税に伴う市の施設の利用料金の改定は、国の政策によつて発生する問題である。

今回の消費税増税は、年々上昇する福祉関連の予算の増加によつて、国家財政は相当苦しい状況であり、このままでは財政が立ちゆかなくなる状態となる。

消費税増税は国民生活に大きな負担を強いるものであり、できれば上げたくないが、しかし現在の国家財政等を考えると上げざるを得ないと判断する。

福祉関連の予算に對応することになると、残念ながら市が管理する施設も例外ではない。よつて今回の条例改正や予算は妥当なものかと判断して賛成する。

**反対**

**議案第8号、9号、16号、18号、22号、32号、33号及び34号について**  
 いずれも消費税増税に對応する内容となつている。消費税増税は、暮らしも経済も財政さえも破壊する恐れが大きいので中止すべきだ。また納付義務のない消費税分を手数料や使用料に上乗せして徴収することは許されないので反対する。

**議案第12号について**  
 年金支給額の減額など高齢者福祉施策が後退する中で、ささやかな祝い金を減額することに反対する。

**議案第19号及び20号について**  
 介護保険法の改悪によるユニバーサルサービスの後退、地方への丸投げの受け皿としての条例制定であり反対する。

**議案第24号について**  
 19・20号の制定に對応する内容のもので、19・20号に反対の立場から反対する。

**議案第28号について**  
 手数料・使用料などは、消費税増税を転嫁する内容となつている、学校給食費補助金及び多子世帯子育て助成金の廃止等、を含む内容となつている

ことから反対する。  
**議案第29号、30号及び31号について**  
 29号では前期高齢者の自己負担割合の増大、31号では軽度者へのサービ

**賛成**

ス切捨てなどを含んでおり、制度そのものの抜本的見直しを求める立場から反対する。

**議案第37号について**  
 浦山ダム建設事業割賦負担金と、浦山ダム資産税との関係に不合理な問題があることから反対する。

**議案第28号について**  
 社会保障・税番号制度(マイナンバー制)の導入趣旨は、住民の利便性の向上や、公平・公正な社会を実現するためだとされている。

また、懸念されている個人情報漏えいや悪用に對しては、利用範囲や情報連携の範囲を法律に規定し目的外使用を禁止し、成りすまし防止のために、個人番号のみでの本人確認を禁止するなど措置が図られている。

安全対策が施された公平・公正な社会を実現するための「社会保障・税番号制度」について、その導入に向けた今回の予算措置に賛成する。

3月定例会で審議した議案、請願の結果

議案番号	議案等の件名	議決結果	会派ごとの賛否						議案番号	議案等の件名	議決結果	会派ごとの賛否					
			市民8人	彩政6人	共産4人	公明2人	新2人	無会派1人				市民8人	彩政6人	共産4人	公明2人	新2人	無会派1人
第1号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	第28号	26年度一般会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	×
第2号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	第29号	26年度国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第3号	辺地に係る総合整備計画の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	第30号	26年度後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第4号	新市まちづくり計画の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	第31号	26年度介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第5号	市長政治倫理条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第32号	26年度下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第6号	市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第33号	26年度農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第7号	公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第34号	26年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第8号	クラブハウス21条例等の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○	×	第35号	26年度施設地方卸売市場特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第9号	聖地公園条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○	×	第36号	26年度駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第10号	社会教育委員設置条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第37号	26年度水道事業会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第11号	青少年問題協議会条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第38号	26年度市立病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第12号	敬老祝金支給条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○	○	第39号	26年度一般会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第13号	重度心身障害者医療費支給に関する条例及び市議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第40号	副市長の選任について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第14号	準用河川管理条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第41号	教育委員会委員の任命について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第15号	市営住宅条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第42号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決	○	○	○	○	1/2	○
第16号	都市公園条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○	×	第43号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第17号	学童保育室条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	第44号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第18号	市立病院使用料及び手数料条例及び大滝国保診療所使用料及び手数料条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○	○	第45号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第19号	地域包括支援センターによる包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	×	○	○	○	第46号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第20号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例	原案可決	○	○	×	○	○	○	第47号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第21号	工場立地地域地準則条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議員提出議案	議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第22号	25年度一般会計補正予算(第5回)	原案可決	○	○	×	○	○	○		議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	○	○	○	○	○	○
第23号	25年度国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○		食の安心・安全の確立を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
第24号	25年度介護保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	×	○	○	○		消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書	原案可決	○	○	×	○	○	○
第25号	25年度下水道事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○		消費税増税の実施中止を求める意見書	否決	×	×	○	×	×	○
第26号	25年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○		「特定秘密保護法」の撤廃を求める意見書	否決	×	×	○	×	×	○
第27号	25年度市立病院事業会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	請願	介護保険要支援者への保険給付を継続するよう国に意見書の提出を求める請願【付託先：文教福祉委員会】	不採択	×	×	○	×	×	○

市民ク：市民クラブ 彩政会：彩政会 共産党：日本共産党秩父市議団  
 公明党：公明党 新風：新風 無会派：会派に属さない議員  
 ※議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対 ○/○：賛成人数/会派人数

人事案件

秩父市副市長の選任、秩父市教育委員会委員の任命、秩父市固定資産評価審査委員会委員の選任および人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

秩父市副市長

横井 隆幸(金室町)

秩父市教育委員会委員

久保 禮子(枋谷)

秩父市固定資産評価審査委員会委員

濱田 雄司(桜木町)

島崎 幸二(荒川日野)

松本 健次(上町)

笠原 秀明(荒川上田野)

人権擁護委員候補者

井原 映子(大野原)

高野 豊子(滝の上町)

市議会を傍聴してみませんか  
6月定例会について

平成26年6月定例会の日程につきましては、4月20日の「秩父市議会議員選挙」により、議員の改選が行われたため、現時点では未定です。5月中旬頃には日程が決まりますので、ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

秩父市議会事務局  
電話：0494-72-2122

# 常任委員会の報告

## 総務委員会

3月定例会で付託された議案9件について報告する。

◆埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について

◆辺地に係る総合整備計画の変更について

◆新市まちづくり計画の変更について

◆市長政治倫理条例の一部改正

◆市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

問 職員の特別休暇である「子の看護休暇」の対象範囲を拡大する改正である。民間企業の職場環境とさらにかき離れるが。

答 行政が率先して子育て支援することにより、民間企業にも広がっていくことを期待している。広報等を用いて広く周知していく。

◆公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正

○以上6件は原案のとおり可決

◆クラブハウス21条例等の一部改正

意見 クラブハウス21等の公共施設利用料金改定は、消費税が上が

り市民生活を直接圧迫するものであり、これを容認できないので反対する、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆25年度一般会計補正予算(第5回)

問 新潟県旧柏崎オートキャンプ場の売却の状況は。

答 昨年から準備を進めてきた。公有財産審議会の審議を経て、12月に一般競争入札をした。土地は94筆、建物は12棟で応札は1人であつたが、落札し所有権移転登記が済んだ。評価額は、不動産鑑定士の評価を経ており適正価格で売却した。価格は土地が約1300万円、建物が約572万円である。

問 市役所本庁舎と市民会館の間にあるイチヨウの木は残すことが決まったのか。

答 今回の補正予算を編成した後には要望が出てきた話であり、新しい建物の玄関正面位置になる。大木のため移植するには、膨大な経費がかかり現在検討中である。

○原案のとおり可決

◆26年度一般会計予算

問 文書法制事務費(マイナンバー制)が計上されているが実態は。

答 マイナンバー法の導入に伴い、これに適合するよう個人情報保護体制の整備を行う新規事業である。具体的には個人情報保護法で規定する「個人情報ファイル」が最新のものになっていくか、「目的外利用の禁止」等が守られているかを点検し整理していく。

意見 「マイナンバー制」の予算が盛り込まれており、個人のプライバシー侵害の恐れがあるので、反対する、との意見が出された。

○挙手多数により可決

## 建設委員会

3月定例会で付託された議案8件について報告する。

◆指定管理者の指定について

◆準用河川管理条例の一部改正

◆市営住宅条例の一部改正

○以上3件は原案のとおり可決

◆都市公園条例の一部改正

意見 国庫に納入しない消費税を課するのは便乗値上げであるので反対する、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆25年度一般会計補正予算(第5回)

問 緑越明許費の別所90号線工事の施工工法は。

答 構造計算の基に鋼製の板状のものを入れ、転圧する工法である。

問 緑越明許費の高篠37号線新設改良工事の進捗状況と緑越理由は。

答 発注はしたが、地元町会との調整および降雪が重なり、全額の繰越となった。

◆26年度一般会計予算

問 農道整備の路線数と総延長は。

答 11路線で総延長4177m。

問 武之鼻橋、櫻橋、登龍橋の補修設計業務委託料の内容と説明。

答 武之鼻橋と櫻橋は橋りょう長寿命化計画により補強、登龍橋は床板の背面に剥離による鉄筋の露出があり、緊急に補修する。

問 旧秩父セメント跡地道路について、補正予算で約1億5千万円減額し、新たに3千6百万円を計上した理由は。

答 旧秩父セメント跡地利用計画では、企業誘致の観点からのインフラ整備と秩父陸橋のあるべき姿が検討され、県等との協議をしているが、結論が出ず、補正予算での減額、新年度予算に用地および工事費用を分けて計上した。

◆26年度駐車場事業特別会計予算

問 大滝観光トイレをどこに設置し、来年工事ができるのか。

答 場所は現行の場所が一番いいのではないかと考えているが、駐車場の利用等も含め、今後検討することになっており、26年に設計業務の委託を発注し、27年度予算で建設を進める予定。

○以上3件は原案のとおり可決

◆26年度水道事業会計予算

問 浦山ダムの固定資産税は一般会計に入り、ダムの建設割賦負担金は水道事業会計から支出されており、水道事業会計の健全化のため整理すべきではないか。

答 水道事業の経営審議会でも議論され、ダムの割賦負担金、維持費、固定資産税等、26年度以降に見直ししていく。

意見 固定資産税が一般会計に入りダムの負担金が水道事業会計から支出される矛盾した予算に反対する、との意見が出された。

○挙手多数により可決

# 常任委員会の報告

## 生活産業委員会

3月定例会で付託された議案12件について報告する。

### ◆聖地公園条例の一部改正

**意見** この議案には消費税の転嫁が含まれている。基本的に消費税反対の立場と納税義務のない消費税分を使用料や手数料に転嫁すべきではないとの理由から賛成できない、との意見が出された。

○挙手採決の結果、可否同数となつたので、委員会条例第17条の規定により、委員長において可決と採決した。

### ◆社会教育委員設置条例の一部改正

### ◆青少年問題協議会条例の一部改正

### ◆工場立地法地域準則条例

### ◆25年度一般会計補正予算(第5回)

### ◆25年度下水道事業特別会計補正予算(第3回)

### ◆25年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)

○以上6件は原案のとおり可決

### ◆26年度一般会計予算

**問** 秩父まつり会館展示リニューアル業務委託料の内容は。

**答** 改修する内容は、外観のリニューアル、南の駐車場側と東の線路側の壁面に屋台・笠鉾を描くことや、2階コーナーに設置されている県内最古の神輿をガラスケースに入れて会館のシンボルとして展示する予定である。他にも、

ジオラマを映像スクリーンに見立て、秩父夜祭の全体像を紹介する装置の設置などを考えている。

**意見** この議案には消費税の問題が絡んでいる。消費税の増税に反対の立場から賛成できない、との意見が出された。

○挙手採決の結果、可否同数となつたので、委員会条例第17条の規定により、委員長において可決と採決した。

### ◆26年度下水道事業特別会計予算

### ◆26年度農業集落排水事業特別会計予算

### ◆26年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算

○以上3件の議案それぞれに対して、次のとおり意見が出された。

**意見** 使用料等に対する消費税が転嫁されている内容なので反対する、との意見が出された。

○以上3件は挙手多数により可決

### ◆26年度公設地方卸売市場特別会計予算

○原案のとおり可決

## 文教福祉委員会

3月定例会で付託された議案15件、請願1件について報告する。

### ◆敬老祝金支給条例の一部改正

○挙手多数により可決

**◆重度心身障害者医療費支給に関する条例及び市議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正**

### ◆学童保育室条例の一部改正

○以上2件は原案のとおり可決

### ◆市立病院使用料及び手数料条例及び大滝国保診療所使用料及び手数料条例の一部改正

○地域包括支援センターによる包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例

○指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

### ◆25年度一般会計補正予算(第5回)

○以上4件は挙手多数により可決

### ◆25年度国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

○原案のとおり可決

### ◆25年度介護保険特別会計補正予算(第3回)

○挙手多数により可決

### ◆25年度市立病院事業会計補正予算(第3回)

○原案のとおり可決

### ◆26年度一般会計予算

○原案のとおり可決

**問** 給食費を払わない人に対してどのような対策をとっているのか。

**答** 保護者の方から集めたお金で運営をしていくものである。納められる人に納めていただかないと他の人に迷惑がかかることになる。学校と教育委員会で連携し、児童手当が出る時期などに徴収を行っている状況。

### ◆26年度国民健康保険特別会計予算

### ◆26年度後期高齢者医療特別会計予算

### ◆26年度介護保険特別会計予算

○以上4件は挙手多数により可決

### ◆26年度市立病院事業会計予算

○原案のとおり可決

### 〈請願〉

**◆介護保険要支援者への保険給付を継続するよう国に意見書の提出を求める請願**

**意見** 財源は限られ各地域の状況が異なる中、全国で同じ保険内容では対応できない。地域力を高め支え合いの仕組みを構築し、介護予防の充実を図ることが大切だと考えるので、この請願に反対する。

**意見** 訪問サービスや通所サービスをはずすことが今度の介護保険の改正である。現在もボランティア等を活用されているが、大変な人が多い。保険料を払ってもサービスを使わないなどの状況が、介護保険制度の現状である。これ以上、制度を後退させるわけにはいかない。この請願に賛成する。○挙手少数により不採択



リニューアル予定の秩父まつり会館

# 一般質問

## 市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<b>① 新井 康一（日本共産党秩父市議団）</b> 1 大雪の被害対策 2 保育所の今後と吉田学童保育室 3 市長の施政方針の中から	<b>⑦ 荒船 功（市民クラブ）</b> 1 水道事業 2 環境事業 3 新市まちづくり計画	<b>⑬ 冨田 俊和（市民クラブ）</b> 1 建設業界の実態と対策 2 農業政策の充実
<b>② 江田 治雄（市民クラブ）</b> 1 2014 豪雪災害時の危機管理 2 秩父映画祭を継続し、観光振興に繋げる 3 秩父ミュージックパークの将来に期待 4 秩父銘仙の活用策	<b>⑧ 福井 貴代（公明党）</b> 1 消費税増税時の臨時給付金の支給準備 2 市立病院でプチ検診導入 3 がん無料クーポンの利用率向上 4 雪害対策（SNSの活用・除雪・共助）	<b>⑭ 大久保 進（公明党）</b> 1 消防団の処遇改善 2 雑誌スポンサー導入
<b>③ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議団）</b> 1 子育て支援新制度 2 田村の土砂たい積	<b>⑨ 斎藤 捷栄（日本共産党秩父市議団）</b> 1 医療介護総合推進法案と介護保険 2 「がんばる地域交付金」の活用 3 市長の施政方針と問題発言	<b>⑮ 山中 進（日本共産党秩父市議団）</b> 1 災害に対する危機管理 2 ソーラー発電の現状 3 路線バスと鉄道利用 4 市子ども子育て会議の取り組み状況は
<b>④ 上林 富夫（新風）</b> 1 危機管理 2 太陽光発電事業（エルゴ社）の現状 3 市政	<b>⑩ 高野 宏（彩政会）</b> 1 子育て支援 2 大雪対策 3 防犯カメラ・街路灯 4 町会運営	<b>⑯ 木村 隆彦（市民クラブ）</b> 1 市道幹線51号線の現状および今後 2 PFI事業 3 定住自立圏構想
<b>⑤ 金田 安生（彩政会）</b> 1 学校再編成 2 子供達が安心して暮らせる制度 3 新市庁舎への移動にあたっての体制	<b>⑪ 金崎 昌之</b> 1 大規模雪害・ピンチをチャンスに 2 熟年者向け定住移住の積極的展開 3 減額が続く秩父市の教育予算	<b>⑰ 宮田 勝雄（市民クラブ）</b> 1 大滝地域の今後のビジョン 2 空き家対策 3 観光資源 4 有害鳥獣対策
<b>⑥ 松澤 一雄（彩政会）</b> 1 道路網の整備 2 大雪の教訓と危機管理体制 3 健康づくり計画 4 文化財修理計画	<b>⑫ 逸見 英昭（彩政会）</b> 1 人口減少社会の到来に向けて 2 市民の声	

※ 市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

## 大雪の被害対策

日本共産党秩父市議団

新井 康一



**問** 大雪の被害に対する市の施策はホームページにはあるが、市民にはなかなか周知されていない。23日の私の指摘でやっと回覧がまわされたようだ。こういう災害では、行政の取り組みをいち早く知らせることが市民の不安を取り除くためには大切なことだ。もっと積極的にお知らせをすべきではないか。

**答** 市報3月号と一緒に合わせて町会に回覧文書を依頼した。

**問** 危機管理課や農政課など相談窓口がバラバラだが雪害対策として窓口を一本化できないか。

**答** 専門的な知識が必要なので現状では困難。危機管理課では適した窓口をご案内する。

**問** 損壊物の無料受け入れは「持ち込み」が条件だがトラックなど運搬手段を持たない人も多い。国では運搬も補助の対象だ。自宅まで回収に行くことはできないか。また期限が5月末だが延長することはできないか。

**答** 今後、国・県から示される具体的な対象事業範囲を見て検討する。期限も状況を見て検討する。

● 保育所の今後と吉田学童保育室

**問** 保育所の再編計画が示され、7年で定員を3割、施設も7から4に削減するという。保護者の意見は反映されるのか。

**答** 保護者や地元町会の意見を聞きながらすすめる。

**問** 吉田保育所は平成27年度改築というが、小学校の多目的ホールを間借りしている学童保育室を併設することは検討しているのか。学童保育室の移設も検討する。



雪の重さで倒壊したビニールハウス

# 一般質問

## 秩父ミュージズパークの再生に期待して



市民クラブ 江田 治雄  
えだ はるお

2007年西武グループより、土地・施設を秩父市に無償譲渡され今日に至っている。この施設は「秩父ミュージズパークスポーツの森公園」として、管理・運営してきた。埼玉県が管理する区域については、指定管理者制度により、秩父開発機構・西武造園グループが行っており、秩父市が管理する区域は市が直営してきた。しかし、行政が経営することには限界があり、市の財政負担を考慮してレストラン、コテージ等の運営をこの4月から㈱フジヤマ・クオリティ社に委ねることになった。この会社は山梨県を拠点に多数、観光施設の経営に実績を上げている。公募で7社が名乗りを上げ、最終的に4社に絞り込まれ、その中から選定された。経営コンセプトやセールスポイントが他社に比べ優れており、また、富士急グループが全社でバックアップすることもあり大きな要因であった。アウトドアスポーツのブームに乗り、首都圏から近く、広大な面積を誇り、自然環境が優れた最高の場所を活用した観光施設となるように期待をしている。すでにレストラン東



新たに開設されたフォレストアドベンチャー

側の森の中に新たな施設の「フォレストアドベンチャー」が(有)パシフィックネットワーク社によりオープンした。森の樹から樹へ空中移動して行く、フランス発祥のアウトドアパークである。今後、秩父の観光振興に繋がるよう大いに期待している。

**問** 今後のミュージズパークは、

**答** 経営を民間に委ねることで、プロの力を最大限に發揮し、活性化してくれることを期待している。

## 子育て支援新制度

日本共産党秩父市議団 出浦 章恵  
いづみりょう あきえ



**問** 24条2項認定こども園は直接契約ではないので自治体は責任が無いのかという質問の答弁は「一定程度負う」だった。一定程度とはどういうことか。

**答** 十分な確認を行い、施設の利用調整について対処していきたい。

**問** 市は情報提供のみで、利用調整の結果保育を受けられなくても仕方ないという事なのではないか。

**答** 保育を受けられない事がないようにしていく。

**問** 子ども子育て会議開催計画と専門部会設置の考えはあるか。傍聴はさせるのか、さらに議事録の公開はするのか。

**答** 児童福祉審議会は今年度中に1回、26年度に4回開催予定。傍聴も議事録の公開もできるようにする。

### ●田村の土砂たい積

**問** 業者によるたい積と、業者の分筆に係わる動向は。

**答** 平成25年3月事前協議書取り下げ以降、市は現場の状況調査。土地の分筆登記関係の確認をしているが特に変化は認められない。



土砂崩れが心配されるたい積

**問** 業者に対する県の対応の甘さがある。撤去を求める強い指導と責任についてどう考えているのか。

**答** その後の土砂搬出はない。平成25年12月25日、秩父環境事務所長から受け入れ先が見つかり次第搬出するよう確認している。



# 一般質問

## 危機管理について

### ●2月豪雪対処について

**問** 除雪で早い所、遅い所の差が出たのはなぜか。業者との契約はどのようなになっているのか。

**答** 14日午後2時頃、委託業者48社へ電話、ファックスにより除雪依頼。契約業者は21年の53業者から5業者減の48業者。3963路線のうち、353路線を機械の能力別に時間単価を設定。

**問** 大雪の苦情数はどれくらいか。

**答** 16日から21日までの概算だが、1日に1000件以上と推定。その後も続いている。内容は「除雪が遅いが最も多く、倒木や通行止め解除は何時か」などである。

**問** 自衛隊などの組織に派遣要請する時は通常、書面で行うのが常識だが、なぜ最初から電話でなく書面で要請しなかったのか。

**答** 明確な答弁なし。

**問** 大雪に対し職員への苦情が手紙や電話で多く寄せられたが、中には実名が書かれたものも多くあった。指導はどうなっているのか。

**答** 指導要綱にそって指導しているから、そんなことはない。



新風 上林 富夫  
かみばやし とみお

### ●太陽光発電事業の現状について

**問** 現在の状況はどんなものか。

**答** 2月25日に修正案をエルゴ社に送付し、現在は返答待ちである。26年8月までに事業開始不可能なら経産省の認可取り消しになる。

### ●市政について

**問** 各部所の26年度の出張予算および市長10回目の外遊はあるか。

**答** 旅費の予算総額は約3000万円。海外出張でタイに行く予定。



自衛隊の災害派遣

## 学校再編成について

### ●昭和30年後半から急激に生徒数が増加し旧市内は新たな学校建設によって生徒数増加に対応したその反対の急激な人口減によって旧市内の学校も余り気味となっている。学校を統合し余った学校を生涯学習の場に活用したらどうか。

**答** 学校の統廃合は避けておれない問題と認識している。しかし、地域の意見や保護者の合意が必要であり色々な角度からよく考える。

### ●子供達が安心して暮らし、遊ばせられる制度の創設は

**問** 全国で子供の行為による事故で補償問題に発展して困っている家庭が多い。子育てし易い街を標榜する秩父市なら、市に在住する全ての子供に市の負担で保険を掛け、家族も子供も安心して遊ばせられる制度は作れないか。

**答** 保険業界と行政の共同でできるかどうか検討してみたい。提案趣旨は分かるが保険料が高額であれば予算的に難しい問題と考える。

### ●新市庁舎への移動にあたっての体制

**問** 新市庁舎のスペースは現行より狭いと聞いているが、新市庁舎に移動の際は事務の合理化を進める絶好の機会と思うので、思い切った事務改革をしたらどうか。

**答** タブレット端末1台で予算書を始め多くの書類が入ってしまうことを考えると、コンピュータに情報を置き換え、事務を整理し机の上を綺麗にするのは良いことだ。考えてみたい。



彩政会 金田 安生  
かねた やすなり



こんな状態で新市庁舎に引っ越すのか

# 一般質問

## 道路網の整備計画について



彩政会 松澤 一雄  
まつざわ かずお

**問** 急ピッチで進む西関東連絡道路の延長工事の完成は何時か。

**答** 県の施工で平成20年代後半の供用開始を目指している。

**問** 連絡道路開通後の市街地を始め、影森、別所、久那方面へのアクセスとして長尾根トンネルの早期開削が必要と思われるが考えは。

**答** 長尾根トンネルの整備は、中心市街地等へのアクセス向上に大きく寄与するため、早期の事業化に向けて国・県に強く働きかける。

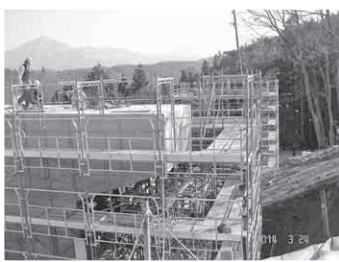
**問** 連絡道から長尾根トンネルへ続くと物流の改善から企業進出、観光客の増加等が見込まれ、経済効果が図られると思うが考えは。

**答** 多くの企業が企業進出の立地選定に高速道路の利用を重要視していることから開削は効果がある。また新たな玄関口として観光誘客にも寄与できるので実現を目指す。

### 大雪の教訓と危機管理体制

**問** 最近の異常気象による夏のゲリラ豪雨、竜巻、豪雪と天候の急変による歯車の狂いは、安心安全なまちでも常に想定した備えが必要である。まれに起こる大雪、ゲリラ豪雨等に対する今後の体制は。

**答** 今回の大雪災害、夏のゲリラ豪雨等、今までの想定では対応しきれない災害を今後は想定内として対応する。重要課題は市民レベルの共助の仕組みづくり。その一環として事前に地域協力者の登録制、地域のボランティア隊等も臨時的なものでなく事前登録等による継続的組織体制を図っていく。



工事が進む連絡道 (国道299号線付近)

◎健康づくり計画について  
◎文化財の修理計画について

## 市が発注した太陽光発電



市民クラブ 荒船 功  
あらかた いさお

**問** 平成25年12月議会時点では、エルゴ・サンジャパン社が県・市民間からの事業用地に賃借権を設定登記し、金融機関の担保にする提案には応じないとのことであった。

平成24年12月に基本協定が締結されて、昨年末には発電開始の予定だったが、事業の進捗状況は。

**答** 平成26年に入り、エルゴ社が用地の担保権設定せず、イタリア本国から資金調達する意向が示されて現在、市では、エルゴ社との賃貸借契約の内容について精査し、最終契約案をエルゴ社に提示して回答を待っている状況である。

県との調整は、1月に農林部長にエルゴ社が前提条件を承諾したことを説明、県もできる限り、協力することを約束した。

今後の予定は、契約締結に合意した後、県への土地転賃借承認申請および承認、民間の土地所有者との契約締結を経て、秩父市とエルゴ社との土地賃貸借契約となる。エルゴ社は契約締結後、直ちに発電用パネル等設備の発注を行い、詳細な測量・設計を開始し、周辺住民への工事説明などを経て、着

工する。順調に進めば、着工からおおむね半年程度で発電開始となる。早期の契約締結および着工、ひいては発電開始について、市およびエルゴ社も共に強く希望している。



太陽光発電建設予定地

# 一般質問

## 増税時臨時給付金の支給準備



公明党 福井 貴代

**問** 消費税8パーセントへの引き上げが低所得者に与える負担を軽減するために実施する「臨時福祉給付金」と食費や養育費などの出費がかさむ子育て世帯を対象にした「子育て世帯臨時特例給付金」の支給準備と概要は。

**答** 「臨時福祉給付金」の対象者および交付額は、基準日が平成26年1月1日に住民登録がある者で、平成26年度の市民税、均等割が課税されていない者から、均等割が課税されている者の扶養親族や生活保護費受給者等を除いた者が該当し、1万円を支給。秩父市では、2万1500人が該当。その内、高齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金受給者等の加算措置5千円の対象者は8398人。「子育て世帯臨時特例給付金」は、基準日の1月1日における平成26年1月支給分の児童手当および特例給付の受給者で、平成25年中の所得が児童手当所得制限に満たない者で、対象児童1人につき、1万円を支給。対象児童は7130人。今後の予定として、5月もしくは6月の市報にて案内を行い、申請受付を開始。期間は6か月を上限

として行っていく。なお、今回の給付対象から除外される生活保護費受給者については、受給者の生活水準が下がらないようにするため、生活扶助費の基準額引き上げ(2・9パーセント)が行われる予定である。速やかな支給事務が行えるよう対応したい。

## 臨時給付金の内容を知らせる新聞記事



市立病院でプチ検診  
がん無料クーポンの利用率向上  
雪害対策

## 市民生活の安心・安全をめざして



日本共産党秩父市議団 斎藤 捷栄

**問** 医療介護総合推進法案と介護保険

**答** 国は平成29年度末までに要支援者の訪問介護と通所介護を予防給付から切り離し、市町村の地域支援事業に移行、人員配置やサービスマン、利用者負担額の設定も市町村の裁量に委ねるとしている。また、平成27年度からは特養への入所は、特例的な例を除いて要介護3以上の高齢者に限定されることとなる。

**問** 「がんばる地域交付金」の活用

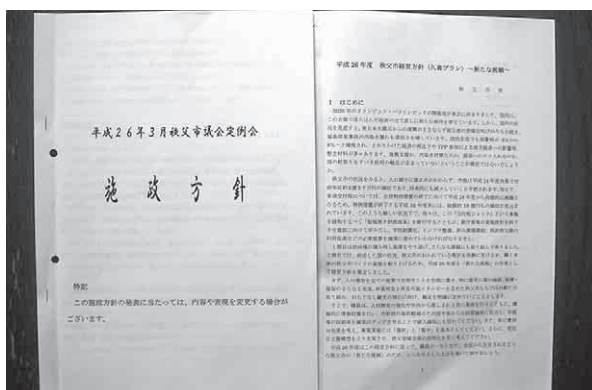
**答** 国の25年度補正予算により、地方の公共工事等に係る負担額に対して、財政力指数等に応じた率を乗じた「がんばる地域交付金」が交付されるもので、見込み額は1600万円から3100万円程度と推定されている。

**問** 市長の施政方針と問題発言  
多子世帯子育て支援助成金

日本共産党秩父市議団 斎藤 捷栄

(第2子以降の給食費無料)の廃止は、「子育て支援の町」という当市の方針にも違背し、自らの選挙公約に掲げ実現してきたものを、自らの任期中に廃止することは公約違反となると思うが、いかがか。

**答** この助成金については、私の1期目の公約であったが、新制度導入のため廃止することとした。私は選挙公約は一期毎、一期限りのものであると考えており、2期目の今、その公約に拘束されていないとは考えていない。



市長の施政方針

# 一般質問

## 子育て支援について



彩政会 高野 宏  
たかの ひろし

**問** 産休明け・育休明け保育や一時保育は、今後、市立保育所で行うのか。

**答** 現在、産休・育休明け保育の保育については、通常の保育入所と同様に、入所の申請をこども課にさせていただき、職場への復職の時期と公立・民間保育所の空き状況に合わせて、入所の調整をしております。今後も、現状と同様に行っていく。

**問** 幼稚園および認定こども園の幼稚園預かり保育への補助事業は保護者に対しての助成なのか。

**答** この事業は、私立幼稚園および認定こども園の幼稚園機能部分に在籍し、市が定める基準に基づき、保育に欠ける児童の預かり保育の経費に対する補助で、基本的には幼稚園および認定こども園に対する補助ですが、園の裁量により、保育料の軽減等、保護者へ還元される措置も想定される。

**問** 大雪対策、通学路歩道の除雪について。

**答** 車道を最優先にしていることから、歩道除雪委託はしていない。しかしながら、今回の大雪では、小中学校が数日間休校となったこと

とから、今後は、歩道や通学路の除雪についても、学校関係者や町会と協議し、除雪対策の検討をする必要があると考えている。



雪に埋もれた市立病院



36年目を迎える永田保育所

- ◎秩父市独自の子育て支援は
- ◎子ども子育て支援新制度
- ◎防犯カメラ・街路灯について
- ◎町会運営について

## 大規模災害・ピンチをチャンスに



かなざき まさゆき  
金崎 昌之

**問** 農業被害が再建意欲の減退につながることであれば、秩父の観光や雇用・経済にまで及ぶ大きな打撃となる。営農者の「より強く大きく再建する」との意欲を喚起し、ピンチをチャンスに変える市独自の支援策が求められている。

**答** しつかり心にとめて、次の農業を守る一材料とする。

### ● 熟年者向け定住移住の積極的展開

**問** 恵まれた自然や都心からの交通の利便性という秩父の好条件を売りに、遊休農地や空きアパート等の遊休資産を活用する中で、島根県西ノ島町で取り組む、50歳以上を対象にした移住促進策「シルバールカディア(理想郷)プラン」を秩父で展開しては。

**答** 農作業ができる畑付きの物件を希望している方が多くいる。熟年層が希望する物件を増やすなど、更なる移住促進に努めたい。

### ● 減額が続く秩父市の教育予算

**問** 耐震化等学校建設費を除く秩父市の教育予算は、H20年から22

年までとそれ以降の年度を比較すると、年3億円余りも減額している。これでは、ふれあい学校の設置等の市独自支援策で得た「子育てしやすい街」(2012年『週刊東洋経済』で秩父市が全国15位にランクイン)という秩父市の評価にも悪影響を及ぼしかねない。

**答** 確かに、教育予算は建築費を除くと減少している。主な要因は人件費の削減に伴うもの。決して教育の質の低下はさせていないと考えるが、増額できるように市長に強くお願いしていきたい。



子どもたちに夢と希望を

# 一般質問

## 人口減少社会の到来に向けて



彩政会 逸見 へんみ ひであき 英昭

### ●市民の声

**問** 人口減少を食い止めるために働く場所の確保が重要だが、企業誘致のその後はどうなっているか。

**答** 従来から立地を検討している企業が新たな事業展開のタイミングを図っている状況が続いている。

**問** 地元企業への支援策の具体的な施策と成果は。

**答** 補助金や融資制度に加え情報発信や経営力向上セミナーの開催など幅広い支援を実施している。

**問** 人口減少社会に向けた新たな施策の展開に向けた考え方は。

**答** 社会経済状況の変化に応じて新たな施策を出し続ける必要がある。既存企業支援でも訪問型支援を強化する他、新たな制度の創設など成長企業の育成を図っていく。

**問** 年々増加傾向にある耕作放棄地の現状と対策は。

**答** 農家の希望に応じて、JA秩父と連携しながら発生防止と再生利用に努めていく。

**問** 今後の有害鳥獣対策の方策は。

**答** 広域防護柵設置計画を作成し、国庫事業を活用して実施していきたい。捕獲については、効果的な活動が実施できるよう改善策を考

えたい。



シカやイノシシなどを捕獲するワナ

**問** 除雪業者の機械保有台数、人員等は把握していたか。

**答** 正確に把握していなかった。エリアの割り振りなど除雪の基本的な対応は準備されていたか。

**問** 除雪委託契約を締結していたか。除雪の基本情報を、町会長に知らせておくべきではないか。

**答** 今後、除雪路線を市のホームページに掲載する予定である。

## 建設業界の実態と対策



市民クラブ 富田 とみた としかず 俊和

**問** 建設業界が衰退すると災害時における、復旧・復興に遅れが出る。入札時における最低制限価格を、当面の策として10パーセント程度引き上げるのが妥当であると考えるが、どうか。

**答** 工事の品質確保や業者の経営改善にもつながり、技能労働者の賃金水準の向上や若年労働者の人材確保にもつながるものであり、市は平成26年度から最低制限価格を2パーセント引き上げる。

### ●農業政策の充実

**問** 大田地域には、大きな石が混入し耕作できない農地がある。耕作放棄地を出さないためにも、良質な残土で農地改良を行いたい。手続きの簡素化と期間の緩和はできないか。

**答** 県、地元農業委員とも協議し農家の皆様方のご負担にならないような対策を講じていく。



建設業者による除雪

# 一般質問

## 消防団処遇改善について



公明党 大久保 すすむ

**問** 消防団は火災や災害の対応を行う消防組織法に基づいた組織であり、非常勤特別職の地方公務員として、災害発生時には一早く自宅や職場から現場に駆け付ける「地方防災」の要である、消防団の報酬の見直しや機材の充実は。

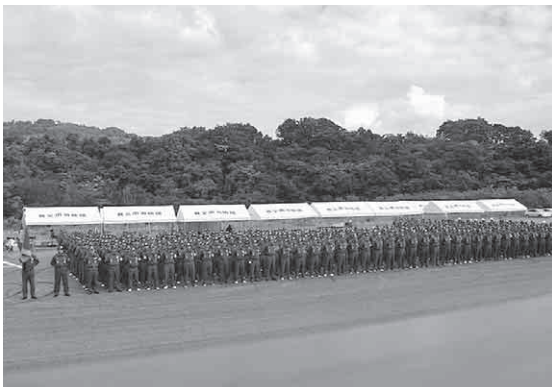
**答** 秩父市消防団は団員階級で4万2千円の支給、周辺消防団は2万5千円から2万7千円の支給となっている。比較的高い報酬を支給している。今後もこの水準を維持していく。

装備については、東日本大震災において、多数の消防団員が犠牲となったことを踏まえ「編み上げ靴」や「救命胴衣」等の消防団員の安全確保のため装備を充実することになった。秩父市消防団は、装備面では他の消防団に先がけて装備を強化してきた防塵メガネ、防塵マスクについては安全確保の向上を図るため昨年からすべての消防団員へ支給している。今後も、より安全な活動ができるよう装備の充実強化に努めていきたい。

●雑誌スポンサー導入について

**問** 図書購入の財源確保のため、雑誌スポンサー制度の導入についてどう考えるか。

**答** 秩父市では現在、広報誌や印刷物、市ホームページ上に企業等の広告を掲載し広告収入を得ている。埼玉県内で雑誌スポンサー制度を導入している市町村を調査したところ、16市2町ですでに実施している。制度についてさらに調査・研究を行い、導入に向けて検討していく。



消防団ポンプ操法大会

## 災害に対する危機管理体制について



日本共産党秩父市議団 山中 すすむ

**問** 中津川のトンネル内に避難した人達や140号雁坂の黒文字橋、滝沢ダムループ橋で立ち往生した車、大滝の断水などライフラインの確認など情報の収集、分析、対策など情報の発信を正確に、誰がどのようになされたのか。

**答** また、市内いたるところの除雪状況、特に医療機関付近の除雪はどうなっていたのか。  
災害時には全庁横断的に取り組み、先に述べた正確な情報を正確に市民に伝えることが求められるのではないかと。こういった災害は雪だけでなく、他の災害にも通じる事とは思わないか。地域防災計画のさらなる充実が求められる。

**答** 各部署は情報伝達の職員を対策本部に詰め、情報の一元化を図る対策が欠けていた。  
今後は大雪のみならず、災害に対する防災計画の見直しを行う。

●ソーラー発電の現状について

**問** 進捗状況と契約は。協定時交わされた内容、寄付、地代、さらに留学などの協定項目は、今後交わされる契約書において実行されるのか。

**答** 責任を持って契約する。

●路線バスと鉄道利用について

**問** 今後の対応について。  
**答** 待ち時間など不便をきたしていることは認識している。利用者の需要に沿う形でのダイヤ改正を交通事業所へ申し入れたい。



トンネルを塞いでしまった高さ10m 近い雪崩の除雪

◎職員の旅費規定について  
◎子ども子育て会議の取り組みは

# 一般質問

## 空き家バンクの現状と今後



市民クラブ 木村 隆彦  
きむら たかひこ

空き家バンクが好調であるという報道がされている。空き家バンクも設立後3年が経ち、都会からの移住が行われていて本来の目的である人口増という成果にもつながっているのではないか。

**問** 成約件数が増えた理由は。

**答** 都内で行われている『ふるさと回帰フェア』や『セミナー』に積極的に参加をし、PR活動を行ったことや、固定資産税納付書に空き家バンクの案内チラシを同封する取り組みを行う事によって、空き家を所有している人に周知ができ、移住者の希望する物件を用意することができたことが背景にある。

**問** 今後の課題について。

**答** 物件購入を検討している人の声を聴くと、移住先の秩父での近所付き合い・人間関係や交通の便に不安を感じていることを聞いている。しかし、実際に移住した人の話を聴くと、秩父の人は面倒見が良く、今まで住んだところよりも近所付き合いも良いので、心温かい地域であると話されている。また、交通の便についても、都心に通勤できる距離で安心している

ちちぶ空き家バンク

募集 空き家を登録しませんか。

ちちぶ空き家バンクのしくみ

物件探し 登録 売却

固定資産税納付書

ちちぶ空き家バンク事務局 (情報センター) 100-0218 秩父市立中央図書館1階 TEL:0494-23-0048 FAX:0494-23-2384

固定資産税納付書に添付されたチラシ

とも話されている。このような移住者の意見を『移住者の体験談』として、ホームページなどで紹介していきたい。また、実際に成約した方からは、行政が窓口なので安心して成約することができた。と好評もいただいているので、このような成約者の声も紹介しながら、今後も秩父圏域外住民に対して『ちちぶの田舎暮らしの魅力』のPR活動を行い、推進を図っていく。

## 有害鳥獣対策について



市民クラブ 宮田 勝雄  
みやた かつお

**問** 大滝、荒川地域のサル捕獲体制について。

鹿、イノシシの被害対策については、一定の成果が出ている。サルについては、いまだに、人家近くで見かけることも多く、より一層の被害対策が必要ではないかと思う。

**答** そこで、被害対策について的一点目以前から質問していることだが、サルに限っては、区域を分けて有害鳥獣捕獲をやってもらえないか。

**問** サルの捕獲檻について。

**答** 昨年、サルの捕獲用の檻を支給してもらい、捕獲を試みたが檻が小さく、サルが警戒して入らず、なかなか効果が現れなかった。有害鳥獣捕獲に関しては、猟友会の高齢化、会員の減少等、今後継続して捕獲事業を実施してい



140cmの積雪があった三峯神社

く上で、様々な問題が山積みしている。市としても大きめの捕獲檻の導入は、今後継続的かつ効果的な捕獲活動を行っていく上で、1つの手法として可能性があるのではないかと。26年度において、実験的に実施し効果検証をしていきたいと考えている。

意見書

3月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書5件が提出され、審査の結果、3件は原案のとおり可決、2件は否決されました。可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

食の安全・安心の確立を求める意見書

1 食品表示等の適正化を図る景品表示法等改正案の早期成立・施行を期すこと。

2 本改正案等に基づく対策の推進にあたり、政府及び地方公共団体において、農林水産省、消費者庁、消費生活センターを中心とした十分な体制を確立するとともに、そのための必要な予算措置を講ずること。

3 一層の食の安全と安心を図るため、係る法令の改正も視野に総合的かつ具体的な検討を行うとともに関係事業者等の果たすべき責任を明確に定めること。

消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書

1 与党大綱に沿い、軽減税率制

度の対象品目や納税事務のあり方など詳細な制度設計の協議を急ぎ、本年末までに結論を出せるよう政府も全面的に協力すること。

2 軽減税率の導入開始の時期については、「消費税率10パーセントへの引き上げ時」に実施すべきこと。

重度心身障害者医療費助成制度の見直しに関する意見書

埼玉県は、重度心身障害者の医療費の自己負担分を助成する制度(重度医療)について、65歳以上の障害者手帳新規取得者を27年1月から対象外とする方針を明らかにした。

26年4月からの消費税増税に始まり、年金支給額の削減、新たに70歳になる人の医療費窓口負担の1割から2割への引き上げ、住民税復興増税など国民へのあいつぐ負担増が計画されている。こうした負担増に加えて、今回の制度見直しが強行されれば障がい者や高齢者の負担は、より一層耐え難いものとなることは火を見るよりも明らかである。よって県においては、重度心身障害者医療費助成制度への年齢制限の導入を取りやめるよう強く要望するものである。

ありがとうございました

3月定例会の盆栽

3月定例会に盆栽を提供していただいた方は、日本盆栽協会秩父支部の、新井清さん(中村町)、堀口正一さん(大野原)です。



新井 清さん提供

堀口正一さん提供

インターネットで議会を傍聴しませんか

本会議の初日(議案説明等)、議案に対する質疑、一般質問、本会議の最終日(採決等)の映像を、インターネットで録画中継していただきますので、ぜひご覧ください。

※録画中継を見る方法

「秩父市ホームページ」から「秩父市議会」をクリックし、その中の「インターネット録画中継」をクリックするか、インターネット検索で「秩父市議会インターネット中継」と検索すれば、秩父市議会インターネット中継のページを見ることが出来ます。

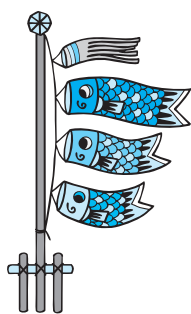
編集後記

2月の2週間続けての大雪により、議会も一週間延期して3月7日開会で3月24日閉会いたしました。人々を騒がせた雪も無くなり桜の花を始め、色とりどりの花が咲きほこり、私たちの目を楽しませてくれていきます。その反面、花粉症の人々には辛い季節です。これが発行される頃は、議会も新しくスタートしてきます。気候の変わり目です。皆さまご自愛ください。

平成26年3月 大久保 進 記

編集委員

- 委員長 木村 隆彦
- 副委員長 大久保 進
- 委員 金崎 昌之
- 上野 富夫
- 高野 宏
- 山中 進





# 特報 市議会議員選挙の結果

## 22人の議員が決まる

去る4月20日に秩父市議会議員選挙が行われ、22人の議員が決まりました。今後4年間、秩父市発展のため市民の代表として活動する議員を紹介します。



## 当選者のプロフィール

掲載順は右から五十音順です。なお、敬称略、政党名、当選回数（合併前を含む）、年齢は平成26年5月1日現在です。

75歳  
無所属・7回



あらふね いさお  
荒船 功

73歳  
無所属・3回



あらい じゅういちろう  
新井 重一郎

59歳  
無所属・6回



あさうみ ただし  
浅海 忠

36歳  
無所属・1回



あかいわ ひでふみ  
赤岩 秀文

54歳  
公明党・2回



おおくぼ すすむ  
大久保 進

61歳  
無所属・5回



いわた はるお  
江田 治雄

52歳  
日本共産党・5回



いでうら あきほ  
出浦 章恵

58歳  
無所属・4回



かさばら こうへい  
笠原 宏平

57歳  
無所属・5回



おびつ いちろう  
小櫃 市郎

58歳  
無所属・4回



おちあい よしじゅ  
落合 芳樹

30歳  
無所属・1回



きよの かずひこ  
清野 和彦

55歳  
無所属・2回



きむら たかひこ  
木村 隆彦

62歳  
新社会党・4回



かなさき まさゆき  
金崎 昌之

72歳  
日本共産党・3回



さいとう かつしげ  
斎藤 捷栄

63歳  
無所属・2回



ごの かみしげじ  
五野上茂次

43歳  
無所属・1回



くろさわ ひでゆき  
黒澤 秀之

66歳  
無所属・2回



とみた としかず  
富田 俊和

60歳  
無所属・2回



たけうち かつとし  
竹内 勝利

60歳  
無所属・2回



たかの ひろし  
高野 宏

65歳  
日本共産党・6回



やまなか すずむ  
山中 進

71歳  
無所属・2回



まつざわ かずお  
松澤 一雄

59歳  
公明党・3回



ふくい たかよ  
福井 貴代